

# 平成28年 豊後大野市教育委員会 7月定例会 議事録

## 1 開催日時

平成28年7月27日(水曜日) 午前9時28分開会 午前10時29分閉会 (1時間1分)

## 2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

## 3 出席者

委員 5名中5名出席

- 1番委員 佐藤良治(委員長)
- 2番委員 藤居あや
- 3番委員 衛藤恵子
- 4番委員 植田博美(職務代理)
- 5番委員 久保田正治(教育長)

事務局 4名出席

- 教育総務課長 真部直廣
- 学校教育課長 朝倉和秀
- 社会教育課長 川野文敏
- 学校給食共同調理場長 衛本浩二

書記 1名出席

- 教育総務課 主幹兼総務係長 麻生正文

## 4 付議事項等

### 報告事項

報告第2号 平成28年度 大分県学力定着状況調査の結果について

### 議事案件

議案第25号 豊後大野市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

議案第26号 平成29年度使用小・中学校教科用図書採択について

議案第27号 豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動について

## 5 会議の概要

### ○出席者報告

真部教育総務課長	おはようございます。お揃いのようにありますので、ちょっと早いのですが、出席者の報告をさせていただきます。出席委員5名、教育委員会事務局4名の出席であります。委員長よろしく申し上げます。
----------	--

## 1 開会

佐藤委員長	(時候のあいさつの後) それでは、ただいまから平成28年7月豊後大野市教育委員会定例会を開会いたします。 (午前9時28分開会)
-------	---

## 2 前回会議録の承認

佐藤委員長	最初に 会議規則第6条第1項第2号の規定に基づき 6月24日開催の6月定例会の議事録の承認を求めます。議事録につきましては、事前に送付され、委員各位もご覧のことと思います。つきましては事務局からの説明を省略し、承認手続を行います。議事録についてご質問等を受けたいと思います。何かございますか。
全委員	(「ありません」の声)
佐藤委員長	よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	ご質問等ないようにありますので、6月定例会並びに第3回の臨時会の会議録について承認することに異議ありませんか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	異議なしと認め、承認します。

## 3 会議録署名委員の指名

佐藤委員長	続いて、会議規則第17条第2項の規定に基づき、本会議の会議録署名委員の指名を行います。2番 藤居 あや 委員を指名します。よろしくお願いします。
藤居委員	はい(了承)

## 4 会期の決定

佐藤委員長	次に、会期の決定であります。付議事項等を勘案いたしまして、本日一日限りといたしたいと思います。異議ありませんか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	異議なしと認め、本日一日限りと決定します。本日の付議事項は、報告案件が1件、議事案件が3件です。よろしくお願いします。

## 5 諸報告

### (1) 教育長報告

佐藤委員長	それでは、諸報告に入ります。はじめに、教育長報告を求めます。お願いします。
久保田教育長	(平成28年7月豊後大野市教育委員会定例会資料等により報告をする) <報告概要> * 大分県学力定着状況調査の結果について * 学校給食調理場の今後の方向について * 卒業生の制服の活用について
佐藤委員長	教育長報告が終わりました。ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。
全委員	(声なし)
佐藤委員長	よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)

### (2) 各課報告

佐藤委員長	じゃあ、ご質問等ないので、各課報告に移ります。 各課の主要な報告を順次、簡潔にお願いします。はじめに、教育総務課長 お願いします。  (真部教育総務課長が平成28年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により 報告をする)
佐藤委員長	では、続きまして 学校給食共同調理場長 お願いします。  (衛本学校給食共同調理場長が平成28年7月豊後大野市教育委員会定例会資 料により報告をする)
佐藤委員長	はい、次に 学校教育課長 お願いします。  (朝倉学校教育課長が平成28年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により 報告をする)
佐藤委員長	続きまして 社会教育課長 お願いします。

	(川野社会教育課長が平成28年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
佐藤委員長	以上で各課報告が終わりました。ただ今の各課報告についてご意見、ご質問等をお願いします。
佐藤委員長	教育総務課長よろしいでしょうか。資料2ページの説明がありましたが、7月19日に寄附のテント、岡部内装さんが寄附されたということですが。
眞部教育総務課長	菅尾小学校と犬飼小学校の2校なのですが、これについては昨年それぞれの学校で岡部内装さんが工事をさせてもらったということで、学校でもあるのでそれ程利益ならなくてもということで、その分をテントとして寄附させてもらいたいということでした。
佐藤委員長	聞き間違いだといけないと思いましたが、私も知っている方なので、今度お会いした際にはお礼を申し上げたいと思います。
佐藤委員長	他に質問はありませんか。
佐藤委員長	じゃあよろしいでしょうか。
全委員	(声なし)
佐藤委員長	じゃあ、ないようですので、次に移ります。

## 6 付議事項等

### ○報告事項

#### 報告第2号 平成28年度 大分県学力定着状況調査の結果について

佐藤委員長	次に、報告第2号について、学校教育課長の説明を求めます。お願いします。  (朝倉学校教育課長が当日配布した「平成28年度 大分県学力定着状況調査結果資料」により説明)  はい、ただ今 学校教育課長から説明がございましたが、この件について、ご意見、ご質問等がございましたらよろしくお願いします。
植田委員	よろしいでしょうか。
佐藤委員長	はい、植田委員さん。

植田委員	<p>大変数値が上がって、結果が出ていることはすばらしいと思います。課長が先程言われた習熟度別の指導とかが、好影響していると思うのですが、先生方の精神的な負担というか、そういうものも随分と以前に比べると改革されているのかなと、先生達が抱える問題とかが随分改善されて行っているというか、そういう部分はどうか。それもある程度好結果、子ども達の学力というものに影響している部分があるのではないかなと、いいことではあるのだけでも。そういう部分に感じることはないですか。</p>
朝倉学校教育課長	<p>例えばですけども、数年前でありますと点数を上げるということに対して非常にアレルギーがあるというか、点数だけが学力ではないじゃないかという議論があります。昔からあります。最近では、点数も学力、点数に表れないものも学力だ。だから両方上げるということで、今は落ち着いているのかなという感じがいたします。そういう意味の意識改革と言いますか、しかも現実には高校入試というものが、目前にありますもので、点数は無視できないわけですから。そういう改革というか、そういう面は進んでいたのかなと思います。現場の感覚としてはですね、やはり「結果を出せ。結果を出せ。」という見えない圧力というか、プレッシャーはないとは言えないです。教育長補足をお願いします。</p>
久保田教育長	<p>一考付け加えれば、先生方も学力を上げることと、学級づくりというか仲間づくりというか、そういうことがリンクしているのだということを、気づいてきたのではないかなと思います。学力が上がっているクラスは、学級としての質が高いということが感じられますね。今度訪問していただければ、分かると思いますが。なかなか、クラスの落ち着きがなくて、学級崩壊に近い形がありましたよね。そういうところは、学力全体、いい子もいるのだけれども、困っている子つまり低い子もいるということがあったのですけど。だんだんそういう点で、改善してきていて、先生方もそれをよしとしているというところがあるのではないかなと思っています。</p>
植田委員	<p>それは、大いにあるのではないかと、子ども達と街とかで合うと、子ども達がすごく落ち着いているように感じるのです。精神的に余裕がある感じがする。よくあいさつしてくれる。私が後ろ向いているのに、わざわざ後ろから「ただいま」だとか、全然知らないお子さんだとかでも「ただいま」だとか言う。それって、やっぱり子ども心にゆとりがないとそういうのは育たないのではないかと、先生方の心にもゆとりというものができてらっしゃるのかなと感じました。ついでにもう一ついいでしょうか。</p>
佐藤教育委員長	<p>はい。</p>
植田委員	<p>最後のところですね、「『対人ストレス』の領域で全国の肯定率との差が大きい。」とありましたが、このことは保護者に伝えていただきたいなと思います。たぶ</p>

	<p>ん、家で他のお子さんとの比較とか、特にお年寄りがいる同居が多い家庭では、ついつい「あそこの子どもはどうある」だとか「あそこの子はすごい」だとか、言いがちなので、うちでもそうだったのですが。そういうものから子どもが過剰にそういうところを意識しすぎて萎縮するところがある。これは先生方との問題でなくて、家庭の中での、こういうことが保護者に少し伝えていただければなと感じました。以上です。</p>
佐藤委員長	他にありませんか。
藤居委員	いいですか。
佐藤委員長	はい、どうぞ。
藤居委員	<p>今、小学校に○付けに、行かせていただいているのですけれども。毎日TRYの算数の様子を見ていて、分かる子が本当にどんどん楽しそうに解いていて、1時間20分でも短く感じるよう見えるのです。やっぱり、分からない子は、一番初めのプリントをいつまでもやっているのです。計算マラソンから始めていたのですが、計算マラソンでつまずいて、それを分からないですって先生に質問して解決していく方向に自分でもって行ければいいのですけれども、それを分からない子は何か自ら分かりませんというふうには言わないのです。先生が回っていらっしゃるときに気づいて教えてあげているのですけど、そのときその問題が解けただけではあまり解決にはならないのではないかと、見ていて思って、一人一人の分からないところを少しフォローしてあげられると、先生方もお忙しいとは思いますが、その時間をちょっと気にかけていただけると、もう少しその子がやろうという気になるのかなと、行っていて思ったのです。先程お話しがあったように、やっぱり分かるようになると学校に行くのが楽しくなるし、その時間が楽しくなって、クラスが良くなるっておっしゃっていた方向に向かうのではないかと思います。でも、こんなにどんどん上がってきているのは、皆さんのおかげだなと思います。</p>
佐藤委員長	いいですか。
藤居委員	はい。
久保田教育長	<p>今の件で、いいですか。夏休TRYで、私が回って行っている学校、千歳はまだ行っていないのですが、様子を見ると、非常に人数が多い学校と絞っている学校があるのですね。何で多くなるかという、希望とって、補助が必要な子は何なら行こうということで、そうでもない子が希望するところで、先生方非常に正直でそういう人達を断れないのです。そでが非常に多いという、日頃の授業と変わらない人数がいるところもありましてね。そうすると、今おっしゃるようなことが、なかなか、手が回らないのですよね。事実だと思います。</p>

藤居委員	<p>そうだと思います。希望者を取るというより、実はうちも行っているのですが、自分が行きたいと思って行くから先生方も断れないし、そうするとやれる子はほとんどん持って来るのですよ。お友達と競争するかのように、今自分が何番までいったみたいな感じで持って来るので、それだと、やっぱり、どうしても本当に分からない子は埋もれてしまっているふうに見えて、ただその子ができないから来なさいよというふうに言えるのか言えないのかっていうところが悩むところだったので、ただ見ているだけではあるのですけど。</p>
久保田教育長	<p>今年から中学校がほとんどの学校で行っていますね。中学生は、それについてやはりそれなりに教えてくれるのですよね。本当のボランティアの方は、そのことについては、丸付けはするけども、いろいろ言うて悪いという意識があるのでしょうかなかなか言わないです。教師が中心になってやることになるのだけれども、繰り返しますが人数が多いものですから、そのところがなかなかうまく行かないところは確かに感じています。それをどうやって効果的にやるかというので、例えば三重第一小は子どもを分けていますね。習熟度別、さっき課長が説明で言ったように。どんどんできる子は、別の部屋でさせています。それも一つの方法だと思います。</p>
朝倉学校教育課長	<p>以前私が三重第一小学校にいたときは、2～30人来るのだけれども、できる子は自分達でもらって、プリントを用意しておいて、できない子を保健室等で5～6人連れて行ってそこでマンツーマンで指導する、などの方法を考えないとせっかく夏休み来るのだけれども下位層の底上げにはつながらないということです。</p>
久保田教育長	<p>もう一つ、下位層の子どもの保護者の熱心さがちょっと、全部教師の責任という、教えることはそうなのだけれども、こうしたら家庭学習につながっていくということになかなかならない。そういうところが、課題だなと思います。</p>
衛藤委員	<p>私も最初TRYに行ったときは、本当に来て欲しい家庭のお子さんが来ていないなとまず感じたのですよ。4～5日前夏休TRYに朝地で行ったときは、1クラス3名から4名のボランティアさんが入るのですよ。1グループに7～8人の子どもさんがプリントを持って来る。だから、担任の先生は、明らかに分からないであろうと思われる子どもさんに常に目を配っている。その点は何かいいかなと思って、算数と国語とあったのですが、国語で面白かったのは3年生で音読みと訓読みをやっていて、そのことばを使ってことば作りなさいという問題があって、「分からん。分からん。」と言って、「店(みせ と てん)」という字を使って何かをとか、「星(ほし と せい)」を使って何かをとく。日頃の家庭中での会話なり、兄弟での言葉のやり取りなりで、沢山ことばが出てくる子と全く、例えばこういうのがあるでしょと言っても「知らん。」って言われて、すごい生活経験だけでことばの数が全然違くなって感じて、私なりに面白かったです。</p>

久保田教育長	見て確かに、朝地と犬飼でボランティアさんが多いです。先程言われたことができるのですが、三重総合高校の生徒さんも来てくれているのです。私が行った日はそれができなかった日で、先生方が四苦八苦していました。人数が多い上に。朝地のような形になるといいなと思います。
衛藤・藤居委員	ですね。そう思います。
衛藤委員	そういうのを広める、私達が知り合いに声掛けをして、指導はできなくても○付けだけでもいいですよと言って、私の場合には退職者はすぐ引っ張るようにしています。
佐藤委員長	教育長、そういうのは、せっかく夏休みでそこまでいいことでやっているのに、学校からそういう今言ったことの問題的に教師側が少し応援の人を増やして欲しいとか何とかしてくれないだろうかとか、学校側から教師を含めてなのですけど、こちらの方には情報とか相談含めて来るのでしょうか。それとも、こちら側自ら入っていくのでしょうか。
久保田教育長	そのために各町に小中の連携したコミュニティスクールのような協議会を作って、朝地のような形にしたいなというのですが、なかなか役員は決まるのだけれどもその後が決まらなくて、作業員というか実際にやっていただく方がなかなか。
衛藤委員	地域の者としては、学校は私達が出かけることによって、受け入れる学校の先生方がやっぱり気を使うことが多かったりして大変じゃないかなって、いつもなんか外部の者に対してアンテナを張り巡らしてないといけない。そうすると、余裕がなくなると、子どもとの授業も楽しくなくなる。やっぱり、先生が楽しいって思えなかったら、子どもにそれが出ないと思うのですよ。私は、それは1年目の時は構えていったからそう思ったのかもしれないけど、2年目3年目となる間に先生達もお若いですし、当然経験っていうのも一般的生活経験っていうものないけど、受け入れることが当たり前になってきたらあまりお互いに気をつかわなくていい、もうわからないところはお願います、でいこうみたいな、ある程度職員室の中にもそういういい意味での開き直りっていうのかな、必要なのではないかなと、ここはもうお任せしよう。味噌の先生だったり、畑の先生だったり、おんぶに抱っこでいいのではないかなと、そういう思いを学校側が持ってくれると行く方としてはありがたい部分も気楽な部分もありますね。
久保田教育長	そうですね。
佐藤委員長	学校側もしっかりしないといけないけど、その協議会の方も町で温度差が随分あるのではないかなというのが、少しずつ入って行けば変わりますよね。そこら辺の

	ところが、頭ごなしに我々委員会の方から協議会に云々というのは、なかなか言い難いところもあるかなという気がしますね。
衛藤委員	そうですね。
佐藤委員長	はい。議論がちょっとありましたが、よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	他にないようですので、次に移らせていただきます。

### ○議事案件

#### 議案第25号 豊後大野市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

佐藤委員長	<p>続きまして、議案第25号の審議に入ります。教育長の提案、学校教育課長の説明を求めます。お願いします。</p> <p>(久保田教育長の提案の後、学校教育課長が平成28年7月 豊後大野市教育委員会定例会資料により説明)</p> <p>&lt;提案理由&gt;</p> <p>平成28年度幼稚園就園奨励費補助金に係る国庫補助限度額等の変更に伴い、この改正案を提出するものである。</p>
佐藤委員長	はい、ただ今 学校教育課長からの説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
佐藤委員長	よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	<p>それでは、ご意見等ないようですので、採決に入ります。</p> <p>議案第25号について、委員各位の賛否を求め採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
全出席委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	異議なしと認めます。議案第25号 豊後大野市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正 については、原案のとおり決定します。

議案第26号 平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について

佐藤委員長	<p>続きまして、議事 議案第26号の審議に入ります。教育長の提案、学校教育課長の説明を求めます。お願いします。</p> <p>(久保田教育長の提案の後、学校教育課長が平成28年7月 豊後大野市教育委員会定例会資料により説明)</p> <p>&lt;提案理由&gt;</p> <p>平成28年度竹田地区教科用図書採択協議会における、平成29年度使用小・中学校教科用図書の選定結果に基づき、豊後大野市立小・中学校で使用する教科書について採択する必要があるため。</p>
佐藤委員長	はい、今 学校教育課長から説明がございましたが、この件について、ご意見、質問がありましたらよろしくお願いします。
佐藤委員長	よろしいでしょうか。
全委員	(「ありません」の声)
佐藤委員長	<p>それでは、ご意見ご質問がないようですので、採決に入ります。</p> <p>議案第26号について、委員各位の賛否を求め採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
全出席委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	異議なしと認めます。議案第26号 平成29年度使用小・中学校教科用図書の採択について は、原案のとおり決定します。

議案第27号 豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動について

佐藤委員長	<p>続きまして 議案第27号 の審議に入ります。なお、この議案の説明及び審議内容等につきましては、人事に関する案件につき、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条 第6項の規定に基づき、非公開 秘密会としたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	<p>異議なしと認めます。それでは、これからは非公開・秘密会とします。</p> <p style="text-align: center;">～～～ 非公開・秘密会開始 ～～～</p> <p style="text-align: right;">(午前10時22分)</p>

	豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動に関する審議
	~~~~ 非公開・秘密会終了 ~~~~
	(午後10時26分)
佐藤教育委員長	議案第27号について、委員各位の賛否を求め採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	異議なしと認めます。議案第27号 豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動については 原案のとおり決定します。

## 7 その他

佐藤委員長	それでは、続いて、その他に入ります。委員さん方から何かありましたら、お願いします。
佐藤委員長	よいですか。
全委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	委員さん方から何もありませんので、事務局から何かありますか。
事務局一同	(「ないです。」の声)
佐藤委員長	それでは、事務局から特にないようですので、連絡調整に入ります。

## 8 連絡調整

### ○ 8月定例会の日程調整

佐藤委員長	8月定例会の日程について、教育総務課長提案をお願いします。
眞部教育総務課長	それでは、提案させていただきます。次回、8月定例会を8月19日金曜日になります。午前9時30分から開会したいと考えております。例月は通常最終の週で行っているのですが、9月議会が控えている関係から、議案の審議をお願いしたいのが1点と、もう一つ事務事業評価を9月議会に報告を出す必要がございます。それで教育委員会の中で事務事業評価の審査をいただくのもございますので、議会前の提出ということでちょっと早くなりますが、8月19日を予定していますので、よろしくお願いいたします。 それから、もう一つ次回のことではないのですが、明日のことです。7月28日には中学校体育連盟の県大会の応援となっておりますので、よろしくお願いいたします。

	よろしくお願いいいたします。
佐藤委員長	ただいま、教育総務課長より 8月定例会を8月19日金曜日 午前9時30分から開催、という提案がありましたが、皆さんご都合よろしいでしょうか。
全出席委員	(「はい」の声)
佐藤委員長	それでは、次回 8月定例会を8月19日金曜日 午前9時30分から開催します。よろしくおねがいします。

## 9 閉会

佐藤委員長	<p>これもちまして、本日の日程は全て終了しました。</p> <p>平成28年7月 豊後大野市教育委員会定例会を閉会します。</p> <p>お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(午前10時29分閉会)</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------